

| | | |
|----------|---|----------------------|
| まちづくりの目標 | 3 | みどりうるおう環境を大切にすまち |
| 政策 | 1 | 地球にやさしく美しい住みよいまちにします |
| 施策 | 2 | 循環型社会をつくるまちにします |
| | | 担当部(統括部) 生活環境部 |

【実現している姿】

| | | |
|-----|---|-----------------|
| 目標 | 地球温暖化対策として、資源化可能なごみがさらにリサイクルされ、ごみの脱焼却が進んでいます。 | |
| 到達度 | 前期終了年度(平成27年度末) | 後期終了年度(平成32年度末) |
| 目標 | ごみの収集・処理の広域化・効率化が進んでいます。 | |
| 到達度 | 前期終了年度(平成27年度末) | 後期終了年度(平成32年度末) |
| 目標 | 市民、事業者、市が一体となった地球にやさしい取組みが進み、ごみがより減量されています。 | |
| 到達度 | 前期終了年度(平成27年度末) | 後期終了年度(平成32年度末) |

| 実現している姿を確認する指標 | | | | | | | | | | | |
|----------------|----|---------|---------|---------------------------|---------|---------|---------|---------|------------------|--------|----------|
| | | 平成20年度 | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成32年度 |
| リサイクル率 | 目標 | — | — | — | 16.8% | 17.4% | 18.0% | 18.6% | 19.3% (事業所含む) | 19.90% | 25.0% |
| | 実績 | 16.3% | 16.2% | 16.2% (事業所含む) | 15.6% | 15.6% | | | | | |
| ごみの年間焼却量 | 目標 | — | — | — | 25,230t | 25,096t | 24,962t | 24,827t | 24,693t | 24,346 | 21,126 t |
| | 実績 | 27,303t | 25,491t | 25,365t | 24,714t | 24,528t | | | | | |
| 市民1人あたりの1日のごみ量 | 目標 | — | — | — | 1,048g | 1,044g | 1,040g | 1,020g | 1,000g | 915g | 724g |
| | 実績 | 1,002g | 943g | 1,052g (H22以降集団回収資源含む) | 1,042g | 1,036g | | | | | |

【施策の展開】◎は重点的な取組み

| | | | | | | | | | | |
|--|---|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|---------------------|--------|--|--|------------|
| ◎ごみゼロ施策の推進 | | | | | | | | | | 平成26年度事業費計 |
| | | | | | | | | | | 29,505千円 |
| できるだけごみを出さずに再使用する意識を高め、実践されるよう、市民、事業者、市の協働による取組みを進めます。また、地球温暖化の原因となる焼却処理を減らすため、ごみゼロをめざした資源のリサイクルをさらに推進します。 | | | | | | | | | | |
| 平成26年度事業 ◇ごみ減量啓発事業1,785千円・◇ごみ減量対策事業27,720千円(環境業務課・環境センター) | | | | | | | | | | |
| | | | 第4期実施計画期間 | | | | 後期終了年度 | | | |
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成32年度 | | | | |
| 計画 | プラスチック製容器包装の分別収集にかかる課題検討 | プラスチック製容器包装の分別収集について市民、事業者を交えて審議 | プラスチック製容器包装の分別収集について市民、事業者を交えて審議 | プラスチック製容器包装の分別収集方法の策定、翌年度以降実施に向けた市民周知 | 廃プラ処理施設の稼働に伴い、プラスチック容器包装の分別収集を実施 | プラスチック製容器包装ごみ資源化の評価 | | | | |
| 取組実績 | 組成分析を行うとともに、安威川以南・以北各4自治会で発砲スチロール製食品トレイのモデル収集を実施。 | | | | | | | | | |
| 成果 | 組成分析の結果、廃プラスチックとして出るごみの量を推測することができた。また、モデル収集を通じて、効率的な収集方法を把握することができた。 | | | | | | | | | |
| 次年度課題 | 本格実施に向け、収集体制や効率収集の解決をはかる。 | | | | | | | | | |
| 計画 | 耐久消費財の再生利用のシステム構築を検討 | — | — | — | — | | | | | |
| 取組実績 | 他市の状況等の情報収集を行った。 | | | | | | | | | |
| 成果 | 再利用可能なものは、リサイクル業者の搬入が多く、市として再生利用の効果は期待できない。 | | | | | | | | | |
| 次年度課題 | — | | | | | | | | | |

| ◎事業系ごみの適正処理とリサイクルの推進 | | | | | | 平成26年度事業費計 2,185千円 |
|--|--|--------------------------|--------------------------|----------------------|-------------------------------|-----------------------|
| 事業活動に伴うごみの処理や減量、リサイクルについて、事業者への啓発・指導を強化します。また、事業者の環境配慮行動がさらに促進されるよう、エコアクション21などの環境マネジメントシステムの認証取得を支援します。 | | | | | | |
| 平成26年度事業 | ◇ごみ減量啓発事業1,785千円(環境業務課・環境センター) ◇エコアクション21認証取得助成事業400千円(環境業務課) | | | | | |
| | 第4期実施計画期間 | | | | | 後期終了年度 |
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成32年度 |
| 計画 | 事業系ごみ適正分別推進方法の検討 | 市内事業所に適正処理の啓発指導 | 市内事業所に適正処理の啓発指導 | 事業系ごみの適正処理の啓発指導方法の評価 | 前年度の評価を踏まえての事業系ごみの啓発指導 | 事業系ごみの適正処理の啓発指導方法の評価 |
| 取組実績 | 収集されたごみが受入基準と合致しているかを目視によって確認する展開検査を行い、許可業者への指導を図った。 | | | | | |
| 成果 | 不適性なごみの分別意識が高まった。 | | | | | |
| 次年度課題 | 排出業者、収集業者への指導・分別の周知を強化する。 | | | | | |
| 計画 | 他課との連携を図りつつエコアクション21取得支援 | 他課との連携を図りつつエコアクション21取得支援 | 他課との連携を図りつつエコアクション21取得支援 | 事業者の環境配慮行動促進状況の評価 | 前年度の評価を踏まえてのエコアクション21取得支援の見直し | 事業者の環境配慮行動促進状況の評価 |
| 取組実績 | 商工団体を通じて、市内企業に講習会案内のチラシを2,200枚配布した。また、財政課へ入札評価点の加算について要望を行った。 | | | | | |
| 成果 | チラシ配布による啓発の結果、1件の助成を行った。入札参加時の評価点が加算されることとなった。 | | | | | |
| 次年度課題 | 取得推進のため、業者に対するメリットの周知が必要。 | | | | | |

| ◎効率的で安定した収集・処理システムの構築 | | | | | | 平成26年度事業費計 855,929千円 |
|--|---|------------------|------------------|----------------------------------|-------------------------------------|-------------------------|
| リサイクルと適正処理に向け、収集システムの確立や収集の効率化をめざした取組みを進めます。また、ごみ、資源の収集、中間処理、最終処分が将来にわたり、また災害時などにも強く安定的な収集処理システムを構築する取組みを進めます。 | | | | | | |
| 平成26年度事業 | ◇ごみ処理施設維持管理事業551,297千円(環境センター) ◇リサイクルプラザ整備事業46,132千円・☆ごみ収集処理事業258,500千円(環境業務課) | | | | | |
| | 第4期実施計画期間 | | | | | 後期終了年度 |
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成32年度 |
| 計画 | 一般廃棄物処理基本計画の進捗管理 | 一般廃棄物処理基本計画の進捗管理 | 一般廃棄物処理基本計画の進捗管理 | 一般廃棄物処理基本計画の見直し | 中間見直しを踏まえての一般廃棄物処理基本計画の進捗管理 | |
| 取組実績 | 食品トレイのモデル収集を実施し、廃プラスチック処理施設整備に係る地域計画を作成した。 | | | | | |
| 成果 | 不燃ごみの一部が資源化され、不燃ごみの減量につながった。 | | | | | |
| 次年度課題 | より一層、資源化率を高めるため、不燃ごみの中から更なる分別を図り、リサイクルプラザの再整備を進めていく。 | | | | | |
| 計画 | 広域処理を見据えたりサイクルプラザ基本計画を策定準備 | リサイクルプラザ基本計画を策定 | 基本計画に基づき発注仕様書を作成 | リサイクルプラザ再整備に着手。不燃ごみ中間処理施設の基本設計策定 | プラスチック製容器包装処理施設の本格稼働。不燃処理施設の実施設設計策定 | 収集処理システムの評価 |
| 取組実績 | 地域計画の作成と交付金申請手続きを行った。 | | | | | |
| 成果 | 地域計画を作成することで平成25年度のリサイクルプラザ基本計画の策定に進むことができた。 | | | | | |
| 次年度課題 | 基本計画、基本設計を策定していく必要がある。 | | | | | |

| | 第4期実施計画期間 | | | | | 後期終了年度 |
|-------|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成32年度 |
| 計画 | 近隣市と共同での研究、課題整理 | — | — | — | — | |
| 取組実績 | 情報共有として勉強会と不燃ごみの展開検査をそれぞれ1回実施した。 | | | | | |
| 成果 | 広域処理を実現するための課題の把握と情報の共有を図ることができた。 | | | | | |
| 次年度課題 | — | | | | | |

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

| 多様な収集方法や収集活動 | | | | | | 平成26年度事業費計 |
|--|---|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|----------------------------|--------------------------|
| 安否確認を兼ねた高齢者などに対するふれあい収集や、ごみ出しの利便性向上と分別収集推進のための戸別収集、収集作業中に子どもを見守るパトロールなどを実施します。 | | | | | | 258,500千円 |
| 平成26年度事業 ☆ごみ収集処理事業258,500千円(環境業務課) | | | | | | |
| | 第4期実施計画期間 | | | | | 後期終了年度 |
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成32年度 |
| 計画 | 緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る | 緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る | 緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る | 緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る | 緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る | 緊急時の対応が実践できるよう職員の資質向上を図る |
| 取組実績 | 9名のごみ収集職員が救命救急講習を受講した。 | | | | | |
| 成果 | 緊急時の対応方法を確認することができた。 | | | | | |
| 次年度課題 | 高齢者人口の増加により、ふれあい収集件数が増えると予想されるため、収集体制の検討が必要である。 | | | | | |
| 計画 | プラスチック製容器包装の分別収集実施に向けた収集体制の検討 | プラスチック製容器包装の分別実施に向けた収集体制の検討 | 食品トレイの全市収集に対応した収集体制へ移行 | 廃プラスチック施設稼働に向けての収集体制の検討 | 廃プラスチック施設の本格稼働に対応した収集体制へ移行 | |
| 取組実績 | モデル地域を決め食品トレイの分別収集を始めた。 | | | | | |
| 成果 | 循環型社会におけるリサイクルの拡大を図ることができた。 | | | | | |
| 次年度課題 | 効率的な収集方法、排出方法を検討していく必要がある。 | | | | | |

| 地域やNPOと連携したごみ減量施策の推進 | | | | | | 平成26年度事業費計 |
|---|--|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 小学校区ごとに、自治会、廃棄物減量等推進員と連携し、協働で不法投棄など地域のごみ問題の解決に取り組みます。 | | | | | | 27,720千円 |
| 平成26年度事業 ◇ごみ減量対策事業27,720千円(環境業務課) | | | | | | |
| | 第4期実施計画期間 | | | | | 後期終了年度 |
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成32年度 |
| 計画 | 地域でのイベント等に参加することにより、日頃から地域との連携を強化 | 地域でのイベント等に参加することにより、日頃から地域との連携を強化 | 地域でのイベント等に参加することにより、日頃から地域との連携を強化 | 地域のごみ問題解決のため地域との連携を強化 | 地域のごみ問題解決のため地域との連携を強化 | 地域のごみ問題解決のため地域との連携を強化 |
| 取組実績 | 廃棄物減量等推進委員との懇談会を、小学校区ごとに計10回実施した。 | | | | | |
| 成果 | 地域におけるごみ問題について、市民と情報を共有し、問題解決に向け協働により取り組むことができた。 | | | | | |
| 次年度課題 | 「市民公益活動支援のガイドライン」が策定された場合、このガイドラインに沿った施策の展開を行っていくことが必要となる。 | | | | | |

| エコアクション21 の認証取得と普及 | | | | | | 平成26年度事業費計 400千円 |
|--|--|--|--|-----------------------|-----------------------|-----------------------|
| 平成21年(2009年)3月に環境センター、ストックヤード両施設で取得しており、地域事業者への普及を目的とした摂津スクールを実施します。 | | | | | | |
| 平成26年度事業 | ◇エコアクション21認証取得助成事業400千円(環境業務課) | | | | | |
| | 第4期実施計画期間 | | | | | 後期終了年度 |
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成32年度 |
| 計画 | エコアクション21を市内事業者に推進し、他課との連携及び他市の事例研究により制度を見直し | エコアクション21を市内事業者に推進し、他課との連携及び他市の事例研究により制度を見直し | エコアクション21を市内事業者に推進し、他課との連携及び他市の事例研究により制度を見直し | 市内事業者におけるエコアクション21の普及 | 市内事業者におけるエコアクション21の普及 | 市内事業者におけるエコアクション21の普及 |
| 取組実績 | 講習会案内チラシを2,200枚配布し、制度の啓発を行った。また、財政課へ入札参加時の評価点加算を要請した。 | | | | | |
| 成果 | 啓発効果により1事業者に対し認証取得の助成を行った。認証取得事業者に対し入札参加時に評価点が加算されることになった。 | | | | | |
| 次年度課題 | 取得後の業者へのメリットを検討する必要がある。 | | | | | |

| 地域や市のイベントと連携した環境教育の推進 | | | | | | 平成26年度事業費計 1,785千円 |
|--|--|---|---|---|--|---|
| 地域のまつりやPTA行事、市のイベントなどに参加し、分別ゲームやパッカー車の体験乗車などを通じて、子どもたちに環境問題やリサイクルについて理解を求める取組を実施します。 | | | | | | |
| 平成26年度事業 | ◇ごみ減量啓発事業1,785千円(環境業務課・環境センター) | | | | | |
| | 第4期実施計画期間 | | | | | 後期終了年度 |
| | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 平成32年度 |
| 計画 | 地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明 | 地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明 | 地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明 | 地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明 | 地域のイベントに参加し、地域とともに環境について子どもたちにわかりやすく説明 | 地域のイベントに参加し、地域とともに環境について、子どもたちに分かりやすく説明 |
| 取組実績 | イベント毎にごみの排出量を測るよう改め、リユース食器の利用とイベント当日のごみ分別の徹底を依頼した。 | | | | | |
| 成果 | イベント全体でごみの分別、減量に取り組むことができ、多くの人に環境問題の啓発を行うことができた。 | | | | | |
| 次年度課題 | イベントの企画者が主体となってごみの分別を指導する必要がある。 | | | | | |